

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	景観推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課			
		実施期間	H4 ~	E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	④観光消費額							
総合的に展開する重点政策	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造							

1 現状と課題

【現状】

- 市町村の景観行政団体への移行を支援することにより、令和3年度現在26の市町村が景観行政団体へ移行している。
- 県民の景観への意識の高まりにより、地域住民による新たな景観育成住民協定が締結され、令和3年度現在172件認定している。
- 「信州ふるさとの見える（丘）」並びに「眺望点」を新たに指定し、令和3年度現在135地点となっている。

【課題】

- 景観行政団体数が増加するとともに、行政界により景観行政が分断され、統一感のない景観形成が懸念される。
- 再生エネルギーの推進により、太陽光発電施設の建設等による景観の阻害が懸念される。
- コロナ禍に伴う地方回帰の影響により宅地開発が増加しており、地域に調和した建築等への誘導が求められる。
- 人口の減少・高齢化により景観育成の担い手が不足しており、将来的にさらに加速していくことが懸念される。

2 事業目的

長野県の美しい景観を保全・育成を図ることで美しく風格のある県土を形成し、快適でゆとりのある豊かな暮らしを創造する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①眺望点の指定推進

- ・市町村に働きかけ、地域が守りたい景観が見える眺望点の申請を促す
- ・特に景観行政団体に対して、県と同様に眺望点を活用した景観届出制度に移行するよう働きかける

眺望点の例（立石公園／諏訪市）

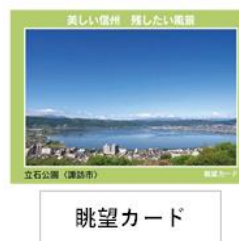


②市町村の景観行政団体移行支援

- ・景観行政団体の移行に関する具体的相談がある市町村に対し、随時相談や現地確認を行う

③眺望カードの作成

- ・小中学校でのまちづくり出前講座などで眺望カードを配布し、景観保全に対する興味・関心を引き出す
- ・ウェブアクセシビリティに対応したホームページや当該関係団体と連携した広報活動の実施



タイトル
名称

景観の特徴

URL + QRコード

4 成果指標

（推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績		実績	推移	実績	推移			
①	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	箇所	122		135	↗	148	↗	175	未達成	指定数の増加に伴い景観法に基づく届出行為に対する抑制効果が期待され、また、地域が守りたい景観を定量化する指標であるため。
②	景観行政団体数	市町村	25		26	↗	28	↗	27	達成	景観行政はその地域に最も近い市町村が執り行うことが望ましいとされており、景観行政団体数は県内市町村の景観行政に対する主体性・積極性を表す指標であるため。

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	1,781	0	1,781	1,437	1,414	2.8
R3年度	0	1,482	0	1,482	1,146	805	2.8
R2年度	0	1,887	0	1,887	1,551	1,256	2.8

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	景観推進費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課		

6 主な取組実績と成果

①眺望点の指定推進

- ・指定の意向がある9市町村を訪問し、計44箇所の候補地を市町村職員とともに確認した。
- ・5市町村から計13箇所の申請があり、長野県景観審議会の意見を聴取したうえで指定した。



新たに指定した眺望点（長和町）

②市町村の景観行政団体移行支援

- ・景観行政団体へ移行する取組みを進めている市町村からの相談に対し助言等を随時行った。
- ・2の自治体が景観行政団体へ移行した。



眺望カードを活用した出前講座の様子

③眺望カードの作成

- ・昨年度に引き続き第二弾として眺望カードを作成した（20箇所、各750枚）。
- ・作成箇所は信州ふるさとの見える（丘）のみでなく、眺望点からも選定し、よりローカルな眺望を紹介できるカードとなった。
- ・2の小学校で眺望カードを活用した出前講座を行った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
眺望点候補地の現地視察は前年度を上回る箇所数を訪問したものの、市町村と候補地を管理する者の調整等が進まないことなどにより、目標に届かなかった。							
指標②	景観行政団体数	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
自治体の景観に対する意識の向上や、景観計画策定に補助金（国）が活用でき金銭的ハードルが下がること等により、2の自治体が景観行政団体へ移行した。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・眺望点の指定推進については、景観行政の重要性や制度の仕組み等に対する理解が得られていないことが課題である。
- ・市町村の景観行政団体移行支援については、市町村が計画の内容の充実等に時間を割けるよう、相談に対してよりきめ細やかなサポートを行っていく必要がある。
- ・眺望カードの作成については、発行したカードをより活用できるような機会を創出していく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・眺望点の指定推進については、市町村担当者研修会等の機会を活用し、より強く呼びかけていく。
- ・市町村の景観行政団体移行支援については、長野県景観育成計画改定に合わせ、景観計画策定等の内容検討に際し連携を強化していく。
- ・眺望カードについては、作成の最終年度であるため、各建設事務所等と連携しながら、メインターゲットとなる若い世代の景観に対する興味・関心を得られるよう活用していく。

事業番号	11 07 04	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	景観推進費		部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	住宅総務費（長野県景観審議会）		213 千円	208 千円	340 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	景観審議会の開催	直接	市町村の景観行政団体への移行等について審議を行うため、景観審議会を開催 開催回数：2回（5/23、2/13）		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	景観保全事業		67 千円	67 千円	71 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	屋外広告物講習会	直接	屋外広告業に関する法定講習会の開催 (11/7、申込者24名)		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	風景育成事業		976 千円	530 千円	1,003 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域景観協議会運営事業	直接	地域景観協議会による景観育成の協議、事業の推進 眺望カードの作成 信州歴史的まちなみフォーラムの共催、眺望カード20種（各750枚）の発行		
2	景観育成住民協定認定事業	直接	住民協定の活動について、随時相談受付 随時相談受付、1件認定		
3	信州の美しい景観の魅力発信事業	委託	ホームページ（ふるさと信州風景百選、信州の歴史的まちなみ）の運用保守 運用保守 1年度		